

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公開番号】特開2014-166327(P2014-166327A)

【公開日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-049

【出願番号】特願2013-268904(P2013-268904)

【国際特許分類】

A 4 7 K 3/28 (2006.01)

【F I】

A 4 7 K 3/22

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月22日(2016.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の吐水口と、第 1 の吐水口より上方に設置されるシャワーヘッドと、温度調整機能、流量調整機能、流路切換機能を有する湯水混合水栓と、を備えるシャワー装置であって、前記流路切換機能は前記第 1 の吐水口からの吐水と、前記シャワーヘッドからの吐水と、を少なくとも切り換えるものであり、前記湯水混合水栓と、前記シャワーヘッドとを接続する配管から分岐される排水路と、排水路に設けられ、開弁することで装置外へ排水を行う排水開閉弁を備え、前記湯水混合水栓の動作に応じて前記排水開閉弁が開閉することを特徴とするシャワー装置。

【請求項 2】

前記流路切換機能を持つ部材と、前記温度調整機能、前記流量調整機能を持つ部材と、を別体の部材として構成する請求項 1 に記載のシャワー装置。

【請求項 3】

前記流路切換機能と連動して前記排水開閉弁が開閉する請求項 1 または 2 に記載のシャワー装置。

【請求項 4】

前記排水開閉弁と、前記流路切換機能をもつ部材を一体化したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のシャワー装置。

【請求項 5】

前記第 1 の吐水口がハンドシャワーであることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシャワー装置。

【請求項 6】

前記第 1 の吐水口がカランであることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシャワー装置。

【請求項 7】

前記シャワーヘッドが天井または壁面に固定されるオーバーヘッドシャワーであることを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載のシャワー装置。

【請求項 8】

前記配管の一部は、前記シャワーヘッドよりも高い位置で屈曲する屈曲部を備え、前記配管より小径の副流路が設けられており、

前記副流路の前記シャワーヘッド側の端部は、前記シャワーヘッド内において開口しており、

他方の端部は前記シャワーヘッド側の端部よりも低く、前記排水開閉弁よりも高い位置において、前記配管又は前記排水路内に開口している請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載のシャワー装置。

【請求項 9】

前記副流路は前記配管の内部に配設されていることを特徴とする請求項 8 に記載のシャワー装置。

【請求項 10】

前記副流路の前記シャワーヘッド側の端部は、前記シャワーヘッド内のもっとも低い位置において開口している請求項 8 または 9 に記載のシャワー装置。

【請求項 11】

前記シャワーヘッド内部に、止水後の水を集約する残水集約部を設け、

前記副流路の前記シャワーヘッド側の端部は、前記残水集約部近傍において開口している請求項 9 に記載のシャワー装置。

【請求項 12】

前記配管の一部は、前記シャワーヘッドよりも高い位置で屈曲する屈曲部を備え、

前記シャワーヘッド内部に、前記湯水混合水栓の動作に応じて開閉する残水排出機構を備える請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載のシャワー装置。

【請求項 13】

前記残水排出機構は、作用する水圧に応じて弁を開閉する残水排出弁を備えた請求項 12 に記載のシャワー装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、請求項 2 記載の発明によれば、前記流路切換機能を持つ部材と、前記温度調整機能、前記流量調整機能を持つ部材と、を別体の部材として構成する。

これにより、流路切換機能を別途に設けることによって、一般的に広く利用されている温度調整機能・流量調整機能をもつ湯水混合水栓を利用することが可能となる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項 13 記載の発明によれば、前記残水排出機構は、作用する水圧に応じて弁を開閉する残水排出弁を備える。

残水排出機構を、作用する水圧に応じて開閉するものとする事で、簡易な操作で確実に残水の排出を行い、シャワーヘッド内部の残水を排出し、吐水開始直後から冷水ではなく確認した望ましい温度の吐水をより確実に行うことが可能となる。